



ウイルス感染ゼロのいちご苗をつくるための検査法

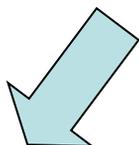
ウイルスで被害を受けたいちご苗



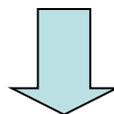
主ないちごのウイルス
イチゴマイルドイエローエッジウイルス(SMYEV)
イチゴモットルウイルス(SMoV)
イチゴベインバンディングウイルス(SVBV)



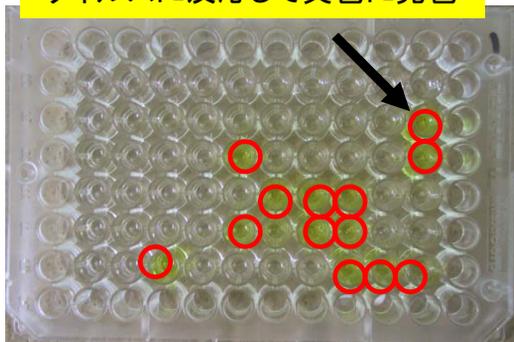
いちごのウイルス検査は難しい



検査法を開発



ウイルスに反応して黄色に発色



ELISA法(酵素結合抗体法)

本試験で作製した抗体により簡易・迅速に同時にSMYEVの検査ができるようになりました。
(生産現場で利用)

ウイルス遺伝子が増幅



M: サイズマーカー
1: SMoV純化粒子
2: SMoV罹病葉
3: 健全葉
4: 滅菌水

LAMP法(遺伝子診断法)

本試験で開発したLAMP法によりSMYEV、SMoV、SVBVを高感度・迅速に検査できるようになりました。
(母株の生産者が利用)



ウイルス感染ゼロの苗でたくさんいちごがとれるようになります